

## 資料1

## 児童・生徒見込数(平成29年度～平成35年度)

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
福田小	6年	8	7	6	14	11	10	6
	5年	7	6	14	11	10	6	7
	4年	6	14	11	10	6	7	7
	3年	13	11	10	6	7	7	6
	2年	11	10	6	7	7	6	5
	1年	10	6	7	7	6	5	5
	合計	55	54	54	55	47	41	36
川俣小	6年	34	38	32	29	29	32	22
	5年	38	32	29	29	32	22	25
	4年	32	29	29	32	22	25	19
	3年	29	29	32	22	25	19	27
	2年	30	32	22	25	19	27	15
	1年	32	22	25	19	27	15	16
	合計	195	182	169	156	154	140	124
富田小	6年	24	18	26	15	18	13	9
	5年	17	26	15	18	13	9	17
	4年	26	15	18	13	9	17	19
	3年	15	18	13	9	17	19	14
	2年	18	13	9	17	19	14	12
	1年	13	9	17	19	14	12	13
	合計	113	99	98	91	90	84	84
川俣南小	6年	20	12	18	27	15	14	7
	5年	12	18	27	15	14	7	12
	4年	18	27	15	14	7	12	9
	3年	27	15	14	7	12	9	8
	2年	15	14	7	12	9	8	7
	1年	14	7	12	9	8	7	16
	合計	106	93	93	84	65	57	59
飯坂小	6年	13	12	6	3	9	5	4
	5年	12	6	3	9	5	4	5
	4年	6	3	9	5	4	5	6
	3年	3	9	5	4	5	6	4
	2年	9	5	4	5	6	4	7
	1年	5	4	5	6	4	7	4
	合計	48	39	32	32	33	31	30
山木屋小	6年	5	5	0	0	0	0	0
	5年	5	0	0	0	0	0	7
	4年	0	0	0	0	0	7	6
	3年	0	0	0	0	7	6	6
	2年	0	0	0	7	6	6	4
	1年	0	0	7	6	6	4	3
	合計	10	5	7	13	19	23	26
合計	6年	104	92	88	88	82	74	48
	5年	91	88	88	82	74	48	73
	4年	88	88	82	74	48	73	66
	3年	87	82	74	48	73	66	65
	2年	83	74	48	73	66	65	50
	1年	74	48	73	66	65	50	57
	合計	527	472	453	431	408	376	359

		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
川俣中	3年	111	106	88	99	87	88	88
	2年	106	88	99	87	88	88	82
	1年	88	99	87	88	88	82	74
	合計	305	293	274	274	263	258	244
山木屋中	3年	10	7	3	0	5	0	0
	2年	7	3	0	5	0	0	0
	1年	3	0	5	0	0	0	0
	合計	20	10	8	5	5	0	0
合計	3年	121	113	91	99	92	88	88
	2年	113	91	99	92	88	88	82
	1年	91	99	92	88	88	82	74
	合計	325	303	282	279	268	258	244

○未就学児の見込み数

(表1) 年度別在園児数の推移(実績)

年度	園児数の計		備 考	
	幼稚園	保育園		
平成 29 年度	232人	102人	130人	
平成 28 年度	226人	98人	128人	福田幼稚園休園に
平成 27 年度	220人	87人	133人	
平成 26 年度	233人	101人	132人	
平成 25 年度	247人	118人	129人	山木屋幼稚園休園に
平成 24 年度	241人	124人	117人	
平成 23 年度	273人	152人	121人	

・過去7年間の在園児数では、平成23年度の270人台から平成29年度では230人台と△40人減少。

(表2) 平成29年度 幼稚園・保育園在園児数(平成29年11月1日現在) (人)

年 齢	計	幼稚園				保育園
		川 俣	富 田	川俣南		
5歳児	49	32	13	13	6	17
4歳児	67	45	5	30	10	22
3歳児	49	25	-	25	-	24
2歳児	32	-	-	-	-	32
1歳児	17	-	-	-	-	17
0歳児	18	-	-	-	-	18
合計	232	102	18	68	16	130

・平成29年度の幼稚園、保育園の園児数合計は、232人。

(表3) 平成30年度における未就学児の地区別状況 (人)

年齢	計	地区別												
		旧町内	鶴 沢	小 神	東福沢	西福沢	羽 田	秋 山	小 島	飯 坂	大綱木	小綱木	山木屋	
5	70	27	14	5	5	1	5	1	2	5	1	1	3	
4	68	18	18	5	1	1	6	1	5	5	1	1	6	
3	66	23	16	4	3	1	5	2	3	4	0	0	5	
2	52	17	11	6	0	1	3	1	0	8	2	1	2	
1	60	27	10	4	1	1	4	1	3	3	1	2	3	
0	31	14	3	2	0	0	2	0	0	2	0	3	5	
合計	347	126	72	26	10	5	25	6	13	27	5	8	24	

・0歳児の合計31人は、平成29年11月4日までの出生人数。

・平成29年4月から11月4日までで、東・西福沢、秋山、小島、大綱木の5地区で出生ゼロ。

(表4) 年度別未就学児の状況(見込み) (人)

平成30年度	5歳	70
	4歳	68
	3歳	66
	2歳	52
	1歳	60
	0歳	60※1
	計	376
平成31年度	5歳	68
	4歳	66
	3歳	52
平成32年度	5歳	66
	4歳	52
	3歳	60
平成33年度	5歳	52
	4歳	60
	3歳	60
平成34年度	5歳	60
	4歳	60
	3歳	60
平成35年度	5歳	60
	4歳	60
	3歳	60

・平成31年度以降は、3歳以上児で計上。

※1 (表3)で平成29年11月4日現在の0歳児は、31人だが年度末では60人を見込む。

(表5) 平成30年度 幼稚園在園児数見込み(平成29年11月20日現在) (人)

年齢	幼稚園	富 田		川俣南
		富 田	川俣南	
5歳児	46	30	16	
4歳児	33	26	7	
3歳児	18	18	-	
計	97	74	23	

・平成30年度の幼稚園入園申込み(29.11.17(金)締切り)の結果。  
・保育園の入園申込みは、29.11末日期限で受付中。

基礎とした児童数

平成31年度以降は、毎年度出生数「60人」で計上。

(表6) 平成31年度以降平成35年度までの各年度における幼稚園・保育園の園児数見込み

年齢別	幼稚園・保育園の園児数	
	幼稚園	保育園
5歳児	60人	30人
4歳児	60人	30人
3歳児	60人	20人
2歳児	60人	20人
1歳児	60人	20人
0歳児	60人	20人
計	80人	130人

・各年度とも、幼稚園80人、  
保育園130人の園児数見込み。

①幼稚園での3歳児保育は1/3の20人、4歳児・5歳児はそれぞれ1/2の30人の入園を見込む。  
②保育園における年齢別入園児数は、これまでの実績から計上し、平成30年度～平成35年度まで、園児の総数を、施設定員である130人の範囲内で見込む。

資料3

町内公立学校（除く山木屋小中学校） 施設改修項目等一覧表（1/2）

2017年11月24日

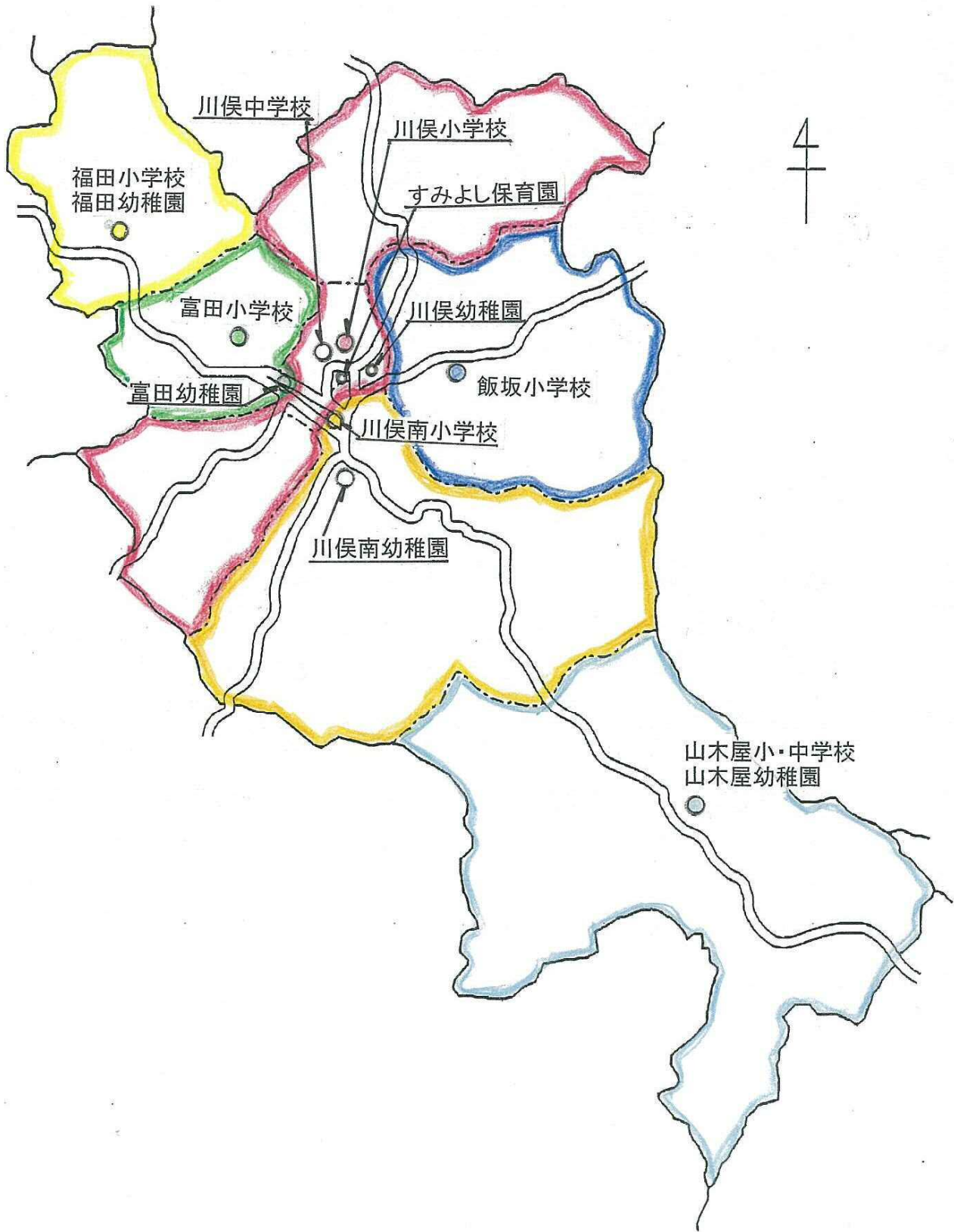
施設名	対象	改修概要等		改修内容	概算施工費(千円) <small>※山木屋小中学校のみあたり工事費から算出</small>	補助事業名	注意点(補助)	その他
		築年・構造						
福田小	校舎	昭和54年	RC造 (3階建) 床面積1,864㎡	①屋根、外壁(防水含む)等老朽化工事	①～⑤ 大規模改修として全面改修した場合 370,000千円	大規模改修(老朽)	大規模改修(老朽) 補助率1/3 (交付金上限下限あり)	【校舎】 ・屋根コンクリート防水劣化等あり、壁面も含め校舎全体を修繕する必要がある。 ・築38年を経過し校舎内の老朽化も確認できる。 ・放送設備など、老朽化した設備は改修をしている。 【体育館】 ・体育館の雨樋は雪により損傷している(学校修繕要望あり)。ただし、雨漏りは発生していない。H27年度にトイレを洋式化した(地域要望)。 ・内外ともに老朽化が進んでいるため大規模改修が必要である。 【アール】 ・アールは使用38年を経過し、箇所が不明の漏水、機械設備の老朽化が著しく、早急な対応が必要である。 【その他】 ・H25年度太陽光設備、H26年度普通教室エアコン設置。 ・児童数減少に伴い、将来の学校再配置検討の対象と思われるため、多額の費用を要する工事については控え、施設の延命を図る修繕を継続していく。 ・校舎が古いため、将来の利活用に懸念がある。
				②天井、内壁、床等老朽化工事		大規模改修(老朽)		
				③給水管、排水管、消火設備、ガス配管改修		大規模改修(老朽)		
④トイレ改修(含む浄化槽)	大規模改修(トイレ改修)							
⑤LED照明改修	大規模改修(質的整備)							
⑥暖房機改修	大規模改修(トイレ) 補助率1/3 (交付金上限下限あり)							
福田小	体育館	昭和61年	s造(平屋) 床面積708㎡	①屋根、外壁(防水含む)等老朽化工事 ②内壁、フロー床等老朽化工事 ③LED照明改修	①～③ 50,000千円	大規模改修(老朽) 大規模改修(質的整備)	大規模改修(老朽) 補助率1/3 (交付金上限下限あり) 大規模改修(質的) 補助率1/3 (交付金上限下限あり)	
福田小	その他(アール)	昭和55年	6㍉×25m	①アールの給水の漏水(位置不明)修繕工事 ②アールの過機及びアール槽全体の老朽化工事	改修費 50,000千円		※改修事業は補助なし。	
概算額計					470,000千円			
川俣小	校舎	昭和62年	RC造 (一部2階建) 床面積4,111㎡	①屋根、外壁(防水含む)等老朽化工事	①～⑥ 大規模改修として全面改修した場合 820,000千円	大規模改修(老朽)	大規模改修(老朽) 補助率1/3 (交付金上限下限あり)	【校舎】 ・屋根コンクリート防水劣化等で軒裏の塗装材が剥離落下を起こしている。危険部分の対応を平成28年度に修繕したが、校舎屋根全体を対応する必要がある。 ・オープンベースが広い半面、夏冬の熱効率が非常に悪い。天井、壁等を設置することについて学校から要望を受けている。 ・築30年を経過し校舎内ベットの汚れがクリーニングでは対応しきれなくなっている。 ・消火栓設備の漏水、ボイラー機器の故障等機械設備にも支障が出ているため、大規模改修等で改修を行う必要がある。 【体育館】 ・体育館の雨漏り対策を平成28年度に実施したが、天井が腐食しているため、交換が必要である(足場費用の関係からLED照明も同時に実施が望ましい)。 【アール】 ・アールは使用50年以上経過し、震災による傾き、原因不明の漏水、機械設備の老朽化が著しく、早急な対応が必要である。 【その他】 ・H26年度普通教室エアコン設置、H27年度太陽光設置。 ・周辺道路が狭く、大型車両交通の利便性に欠ける。緊急車両等の通行にも懸念がある。さらに、中学生生徒送迎車で道路が混雑するため、通学時は安全面に配慮が必要(特にバス乗降所)。 ・校庭の大部分を借地しており、町の経費としてしていることは将来の財政面で不安となる。
				②天井、内壁、床等老朽化工事		大規模改修(老朽)		
				③給水管、排水管、消火設備、ガス配管改修		大規模改修(老朽)		
				④トイレ改修(含む浄化槽)		大規模改修(トイレ改修)		
⑤教室再配置(間仕切)及びLED照明改修	大規模改修(質的整備)							
⑥ボイラー機器等暖房機改修	大規模改修(空調設備)							
川俣小	体育館	昭和62年	s造(平屋) 床面積837㎡ 一部RC造(2階建) 247㎡	①天井、床等老朽化工事 ②LED照明改修	①+② 60,000千円	大規模改修(老朽) 大規模改修(質的整備)		
川俣小	ラウンジ	平成15年	S造(平屋) 床面積633㎡	①LED照明改修				
川俣小	その他(アール)	昭和38年	6㍉×25m 幼児用アール	①アール槽の傾斜及び循環パイプの漏水工事 ②アールの過機及びボイラー等設備の老朽化工事	全面改修費 200,000千円	水泳アール新築事業	※新増築事業 補助率1/3 ※改修事業は補助なし。	
概算額計					1,080,000千円			
富田小	校舎	平成元年	RC造 (一部2階建) 床面積1,972㎡	①屋根、外壁(防水含む)等老朽化工事	①～⑥ 大規模改修として全面改修した場合 390,000千円	大規模改修(老朽)	大規模改修(老朽) 補助率1/3 (交付金上限下限あり)	【校舎】 ・屋根塗装剥がれあり、校舎屋根全体を修繕する必要がある。 ・オープンベースが広い半面、夏冬の熱効率が非常に悪い。 ・FF式暖房機の故障等、設備にも支障が出ているため入換を実施している。 【体育館】 ・体育館の雨漏り対策を平成28年度に実施したが、屋根の塗装が劣化しているため修繕が必要である。 【アール】 ・アールは経年劣化しているため、ペイント塗装が望ましい。 ・アールは30年であるが、大きな不具合は報告されていない。ただし、ろ過機等の機械設備は交換時期を過ぎており、今後対応が必要である。 【その他】 ・H26年度、普通教室内エアコン設置。
				②天井、内壁、床等老朽化工事		大規模改修(老朽)		
				③給水管、排水管、消火設備、ガス配管改修		大規模改修(老朽)		
④トイレ改修(含む浄化槽)	大規模改修(トイレ改修)							
⑤教室再配置(間仕切)及びLED照明改修	大規模改修(質的整備)							
⑥ボイラー機器等暖房機改修	大規模改修(空調設備)							
富田小	体育館	平成元年	s造(平屋) 床面積835㎡	①屋根、外壁、床等老朽化工事 ②LED照明改修	①+② 60,000千円	大規模改修(老朽) 大規模改修(質的整備)		
富田小	その他(アール)	平成元年	6㍉×25m	①アールの過機等設備の老朽化工事	改修費 30,000千円		※新増築事業 補助率1/3 ※改修事業は補助なし。	
概算額計					480,000千円			

町内公立学校（除く山木屋小中学校） 施設改修項目等一覧表（2/2）

2017年11月24日

施設名	対象	改修概要等		改修内容	概算施工費(千円) ※山木屋小中学校のみあたり工事費から算出	補助事業名	注意点(補助)	その他
		築年・構造						
川俣南小	校舎	昭和59年	RC造 (一部2階建) 床面積3,570㎡	①屋根、外壁(防水含む)等老朽化工事 ②天井、内壁、床等老朽化工事 ③給水管、排水管、消火設備、ガス配管改修 ④トイレ改修 ⑤LED照明改修	①～⑤ 大規模改修として全面改修した場合 710,000千円	大規模改修(老朽) 大規模改修(老朽) 大規模改修(老朽) 大規模改修(老朽) 大規模改修(トイレ改修)	大規模改修(老朽) 補助率1/3 (交付金上限下限あり) 大規模改修(質的) 補助率1/3 (交付金上限下限あり) 大規模改修(トイレ) 補助率1/3 (交付金上限下限あり)	【校舎】 ・校舎は川俣小学校よりも3年古く、老朽化対策や長寿命化の対策が必要である ・屋根部はコンクリート防水、シート防水が劣化し、改修が必要である。 ・校舎壁面はコンクリート剥離している箇所もあり、補修が必要である。 ・校舎天井・床等の老朽化による改修が必要である。 ・給排水管の老朽化対策及びトイレ改修が必要である。 【体育館】 ・体育館は平成28年度に完成。校舎から体育館への新しい渡り廊下の検討はいかがか。 【アtr】 ・アtrは築25年経過し、屋根部の老朽化が著しい。銅板葺きの屋根(当時は温水アtrを想定)であるため、太陽光による温室効果も低く、熱効率の高い材質(ガラス)に改修したい。開閉機器も交換の必要があり、大規模な改修を行う必要がある(ただし、アtr改修の補助は無い)。 【その他】 ・校舎正面側の道路は国道であり、利便性が高い。 ・校地西側の広瀬川管理道路は、将来拡張される計画がある。 ・H26年度普通教室エアコン設置。H27太陽光設置。
	体育館	平成29年	RC造屋根s造 (平屋) 床面積778㎡	①渡り廊下の整備検討	16,000千円		※負担金事業 補助率1/2 (補助要件確認必要)	
	ランヂルーム	平成15年	S造(2階建) 床面積429㎡	①LED照明改修 ②屋根、外壁(防水含む)等老朽化工事 ③天井、内壁、床等老朽化工事	60,000千円		大規模改修(質的整備) 大規模改修(老朽)	※アtrルームのみの改修補助なし
	その他 (アtr)	昭和60年	s造(平屋) 床面積650㎡ 5.2×25m	①アtr-#ろ過機改修 ②アtr-#上屋改修(銅板→ガラス)等改修	100,000千円		※改修事業は補助なし	
概算額計					886,000千円			
坂本小	校舎	平成5年	RC造 (一部2階建) 床面積2,119㎡	①屋根、外壁(防水含む)等老朽化工事 ②天井、内壁、床等老朽化工事 ③給水管、排水管、消火設備、ガス配管改修 ④トイレ改修(含む浄化槽) ⑤教室再配置(間仕切)及びLED照明改修 ⑥ホtr-#機器等暖房機改修	①～⑥ 大規模改修として全面改修した場合 420,000千円	大規模改修(老朽) 大規模改修(老朽) 大規模改修(老朽) 大規模改修(トイレ改修) 大規模改修(質的整備) 大規模改修(空調設備)	大規模改修(老朽) 補助率1/3 (交付金上限下限あり) 大規模改修(質的) 補助率1/3 (交付金上限下限あり) 大規模改修(トイレ) 補助率1/3 (交付金上限下限あり)	【校舎】 ・屋根コンクリート防水劣化等、校舎屋根全体を修繕する必要がある。 ・ホtr-#ベ-スが広い半面、夏冬の熱効率が非常に悪い。 ・ガラスアtr窓所より雨漏り有、学校から修繕要望を受けている。 ・ホtr-#機器等機械設備にも故障が発生し始めている。大規模改修等で改修を行う必要がある。 【体育館】 ・体育館の屋根の老朽が確認されるため修繕をする必要がある。 【アtr】 ・アtrは使用25年経過したが、修繕の報告はない。 【その他】 ・県道から大型車輛が敷地には入れないため交通の利便性に欠ける。 ・大雨の際、体育館北側より学校内に大量の土砂が流入する。また、敷地内水路が溢れると校庭に土砂が入り込む。 ・校庭の一部を借地しており、町の経常経費としていることは将来の財政面で不安となる。
	体育館	平成5年	s造(平屋) 床面積815㎡	①天井、床等老朽化工事 ②LED照明改修	①+② 60,000千円	大規模改修(老朽) 大規模改修(質的整備)		
	その他 (アtr)	平成6年	5.2×25m	①アtr-#ろ過機改修	改修費 30,000千円		水泳アtr-#新改築事業	※新増築事業 補助率1/3 ※改修事業は補助なし。
概算額計					1,080,000千円			
川俣中	校舎	昭和47年 ～49年	RC造 (4階建) 床面積6,968㎡	①屋根、外壁(防水含む)等老朽化工事 ②天井、内壁、床、窓等老朽化工事 ③給水管、排水管、消火設備等改修 ④トイレ改修及び浄化槽入替(単独3→合併1) ⑤LED照明改修 ⑥暖房機、エレベーター改修	4000,000千円 250,000千円 250,000千円 1,100,000千円	大規模改修(老朽) 大規模改修(老朽) 大規模改修(老朽) 大規模改修(トイレ改修) 大規模改修(質的整備) 大規模改修(空調設備)	※耐震改修時に実施済み ※①と同時施工のみ補助対象 ※浄化槽工事は文科省対象外 ※小学校補助と同様	【校舎】 ・築45年以上が経過し、いたるところに要改修箇所が見受けられる。特に機械設備関連には不具合も生じている。トイレ改修については特に学校が要望している。 ・建物が古いため、天井・床材にアtr-#が含まれている可能性があり、実施設計を行わないと、工事額の算出は難しい。 ・大規模改修(老朽)事業の整備要件は屋根・外壁及び天井・床等、外部と内部を一定の比率以上に改修することとしている。屋根・外壁が耐震改修工事に整備済みの為、内部老朽対策については補助対象外となる。 【体育館】 ・震災時の損傷箇所は復旧済み。 ・アリーナのクレ-ン塗装や鋼製床調整(学校要望あり)が必要。 ・H27年度にトイレを洋式化した(学校要望)。 【その他】 ・町中心部に立地しており、便利である。反面、道路交通事情が悪く、大型車輛の侵入に課題が残っている。 ・改築と改修では改修が安価であると思われるが、今後20年以上の校舎利用を考えると、改築し、複合施設等の検討はいかがか。 ・(平成23年に耐震改修済みであるが、改築の補助事業には支障ない。県確認) ・H25年度太陽光設備。H26年度普通教室室内エアコン設置。
	体育館	平成5年	s造 (平屋) 床面積1,512㎡	①LED照明改修 ②屋根、外壁(防水含む)等老朽化工事 ③天井、内壁、床等老朽化工事	60,000千円	大規模改修(質的整備) 大規模改修(老朽)	※小学校補助と同様	
	その他 (アtr)	平成6年	6.2×50m	①アtr-#のクレ-ン塗装劣化補修等工事 ②アtr-#ろ過機の改修	80,000千円			※改修事業は補助なし
概算額計					1,240,000千円			

幼稚園・小学校位置図



## 資料5

### (仮称) 川俣町小・中学校等再配置計画策定委員会設置要綱 (案)

#### (設置)

第1条 少子化の進展に対応し、幼児並びに児童・生徒の適正な教育環境の確保と複式学級の回避を図るため、川俣町小・中学校等再配置計画策定委員会（以下「委員会」という。）を置く。

#### (検討事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 少子化時代における幼児並びに児童・生徒の望ましい教育環境の構想に関すること。
- (2) 幼稚園、小・中学校の適正な教育環境の再配置計画の策定に関すること。
- (3) その他必要と認める事項に関すること。

#### (組織)

第3条 委員会は、学識経験者、学校関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、PTA関係者及び地域住民等の方々から教育委員会が委嘱する。

#### (任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

#### (委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が事故あるとき、又は、委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

#### (会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員長は、特に必要と認めるときは、委員以外の関係者等の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、川俣町教育委員会学校教育課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

(仮称) 川俣町小・中学校等再配置計画策定委員会  
委員構成 (案)

	委員区分	役 職
1	学識経験者	福島大学教授
2		福島県教育センター
3		町社会福祉協議会長
4	学校関係者	町小・中学校長会長
5		町小・中学校長会副会長
6		町幼稚園長会長
7		学校評議員代表
8		飯坂小コミュニティスクール運営委員長
9	社会教育関係者	町社会教育委員代表
10	児童福祉関係者	すみよし保育園長
11	P T A 関係者	町 P T A 連絡協議会代表
12		町 P T A 連絡協議会代表
13		幼稚園 P T A 連絡協議会代表
14		幼稚園 P T A 連絡協議会代表
15	地域住民等	町自治会連絡協議会長
16		町自治会連絡協議会副会長